

小学生向け・約19分

文部科学省選定

聞き方上手 話し方上手

コミュニケーションを身につけよう

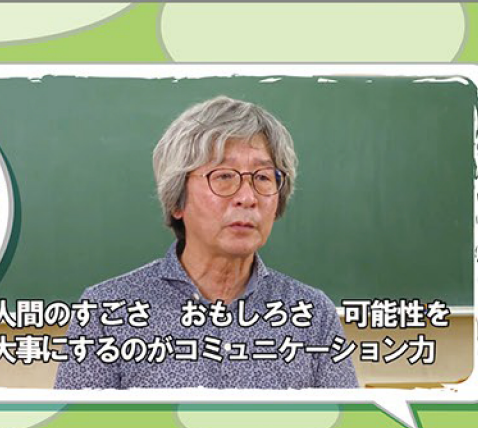


スピーチ力 = (内容10点 + 声10点 + 表情態度10点) × 伝えたい気持ち0点 = スピーチ力0点

指導者向け・約27分

自分で考えよう みんなで考えよう

コミュニケーションのある学級づくり



人間のすごさ おもしろさ 可能性を大事にするのがコミュニケーション力

監修のことば

全国の学校を訪問する中で、「子どもたちのコミュニケーション力が弱くなっている」ことを強く感じています。コロナ禍の影響もあると思いますが、生きる力と直結するコミュニケーション力の弱さが気になっています。

コミュニケーション力の育成は、いじめ対策、不登校対策といった対症療法ではなく、アンビシャスな取り組みでもあります。学校教育だけではなく、家庭や地域でも育てるべき力なのです。

本作品では、人前でひとまとまりの話を筋道立てて話すスピーチ、相手と意味や感情を伝え合って新しい気づきや発見を生み出す対話、相手の話をよく聞いて議論できる力を効果的に伸ばすディベートの3つを取り上げています。これらを体験を通して学ぶことは、自分のことを自分の言葉で話し、人とつながることができる子どもを育てることになります。これから生きる子どもたちに必要なコミュニケーションの力です。

コミュニケーション力を身につけた子どもは、他者と豊かな人間関係を築き、積極型の人間へと成長していきます。よりよい自分を育て、民主的な社会の担い手へと成長していくのです。

本作品の視聴を通して、笑顔あふれる子どもが増えることを期待しています。子どもたちの健全な成長に役立つことを強く願っています。



教育実践研究家 菊池省三

企 画 意 図

核家族化やITの普及に加え、コロナ禍での生活により、子どもたちのコミュニケーションの機会はますます減少傾向にあります。コミュニケーション力は、自分の考えを表現し、相手を理解し、温かい人間関係を作ることに繋がり、豊かな人生を送る上で必要不可欠な力です。

この2作品では、ある小学4年生のクラスの「話し合い」「スピーチ」「ディベート」の授業を通じて、コミュニケーション力を育む方法を学びます。各章において、監修者である菊池省三先生が受け持つ子どもたちの様子を見本として紹介し、具体的な方法を見ていきます。子どもたちが安心して自己表現するためのクラスの環境作りについても紹介します。

小学生向け作品では、内容のポイントについてアニメキャラクター「コムちゃん」が解説し、指導者向け作品では指導方法のポイントについて、菊池先生による解説を入れていきます。

小学生向け・約19分
文部科学省選定

聞き方上手 話し方上手 コミュニケーションを身につけよう

■話し合いで一人一人の違いを楽しもう



4年1組を色で表したら何色？

まずは自分で紙に書き出し、その後は友達と話しながら考える。普段あまり話をしない友達に積極的に話しかけることで、自分が思いつかなかったような意見を知ることできる。

■スピーチで「相手を意識して話す」



私の宝物

スピーチはまず、型に沿って話す。内容だけではなく、話す声や表情、態度も意識するのがポイント。そして何より自分の意見を相手に伝えたいという気持ちを忘れないよう

にする。聞く側も、しっかり聞く姿勢を意識する。

■ディベートに挑戦！



学校の給食は弁当にすべき？

肯定派と否定派に分かれて討論し、最後に討論を聞いた審判が判定する。ディベートでは、自分たちの意見を理由・根拠を持って伝え合い、相手の質問や意見も聞き入れ、互いの意見を高め合う。互いに成長できるよう思いやりを持って、相手の不足部分を指摘することが重要。また、テーマについて地域や社会の目線で意見を考えるようにしよう。

■ライブラリー価格 本体 ¥68,000 (税込 ¥74,800)

■学校価格 (小学校のみ) 本体 ¥33,000 (税込 ¥36,300)

指導者向け・約27分

自分で考えよう みんなで考えよう コミュニケーションのある学級づくり

■話し合いを通じて一人一人の違いを認める

テーマについて子ども同士意見を交換し合い、様々な考えがあることを確認する時間を設ける。性別の違いや日頃の仲の良さに関わらず意見を交換し合うように指導する。その後は「自由起立発表」で積極的に発言するよう伝える。コミュニケーションでは加点法の評価を心がけ、発言しやすい環境を作るためには聞く側の姿勢が重要であることも伝える。

■スピーチで学ぶ 聞く人を意識した話し方

スピーチでは子どもたちの自己開示となるようなテーマを選び、型に沿って話すことで、人前で話すことに慣れさせることから始める。そして話す内容だけではなく、声や表

情、態度などで「伝えたい気持ち」を意識させるよう指導する。

■ディベートで互いに高め合う討論を体験

ディベートの目標は噛み合った議論を行う楽しさを実感すること。テーマは子どもたちが様々な視点から考えられるものを選び、事前にデータなどの下調べをさせる。様々な立場を想像して意見を考えさせること、相手の意見をよく聞き自分の意見を構築させること、互いの成長を考え相手の不十分な部分を指摘させることが指導のポイント。

■ライブラリー価格 本体 ¥68,000 (税込 ¥74,800)

■学校価格 (小学校のみ) 本体 ¥33,000 (税込 ¥36,300)

監修 教育実践研究家 菊池 省三
企画・制作統括 高木 裕己 脚本・演出 二木 まさ美
プロデューサー 堤 謙一 撮影 岡野 秀俊
協力 葛飾区立柴又小学校
株式会社中村堂

制作・著作 株式会社映学社

■DVD [カラー] ■2024年・映学社作品

○株式会社映学社が製作する映像、DVD、ロゴ、イラスト、チラシ、ウェブサイト等全ての著作物の著作権は、映学社もしくは関係権利者等の著作権者に帰属しています。これらの著作物を権利者の許諾を得ずに、複製、転載、改変、譲渡、配布、公衆送信（送信可能化を含む）、放映等に利用することは原則として法律により厳しく禁止されています。
○本チラシで紹介しているDVDは、DVDビデオディスクです。CD-ROMプレイヤーではご覧になれません。必ず市販のDVDビデオプレイヤーでご覧ください。
なおDVDビデオは、映像と音声を高密度に記録したディスクです。詳しい再生上の取扱いについては、ご使用になるプレイヤー、テレビなどの取扱説明書をご覧ください。

●お問い合わせ・お買い上げは

(株)オプチカル 販売課 教育映像係

香川県高松市屋島西町2484-8

TEL 087-841-1100

FAX 087-841-1101